

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活みなぎる産業のまちを目指します
取組1	産業の新たな展開の推進
取組の目的	企業の新たな展開を支援するとともに、地域経済を支える企業の誘致を推進します。
現状と課題	<p>◎国内経済は回復基調にあり、近い将来においても、東京オリンピックが開催されるなど好要因もある。景気回復に伴い雇用が改善している一方、企業の人手不足の問題が生じており、今後の継続した経済成長に向けた課題となっている。</p> <p>◎人口減少社会の到来に伴い、労働力の中心である生産年齢人口の減少や製品需要の縮小により、これまで以上に生産体制の効率化や生産性の向上を図っていく必要があるとともに、自動車産業におけるEVシフトへの転換など第4次産業革命が急速に進展する中、中小企業の産業構造の変化への対応が問われている。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	企業立地件数(製造業)(件)(H28~32累計)	目標値	—	1	3	5	9	100.0%
		実績値	0	2	5			
2	製造品出荷額等(従業員4人以上)(億円)	目標値	—	5,183	5,261	5,340	5,500	100.0%
		実績値	5,175	5,370	5,768			
3	静岡理科大学と市内企業の共同研究件数(件)(H28~32累計)	目標値	—	4	8	12	20	87.5%
		実績値	4	3	7			
4	経営革新計画の承認件数(製造業)(件)(H28~32累計)	目標値	—	5	10	15	25	80.0%
		実績値	6	4	8			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								85.0%
								91.9%

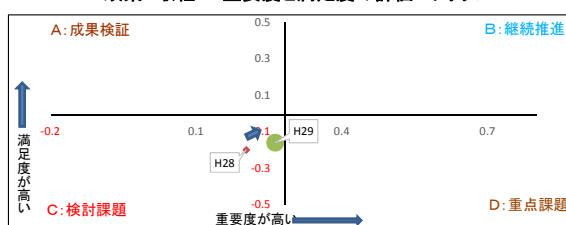
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	製造品出荷額等(百万円)従業員4人以上「平成29年工業統計調査報告書」	576,784	1,567,485	1,020,037	474,643	343,677	—
2	製造事業所数 従業員4人以上「平成29年工業統計調査報告書」	229	542	349	340	105	—
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.22	0.28			
満足度	-0.19	-0.15			

政策4取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)新たな展開への支援

産学官連携推進事業	産業政策課	4,439	5,000	維持	◎
産業経済懇話会	企画政策課	1,095	614	皆減	

基本方針(2)活力ある工業の振興

袋井商工会議所補助事業	産業政策課	17,500	15,100	維持	
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,290	7,800	維持	
産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,439	5,000	維持	
創業支援推進事業	産業政策課	926	1,100	維持	

基本方針(3)企業誘致の推進

工場立地奨励補助金交付事業	産業政策課	72,215	39,166	拡充	
工業用地開発推進事業(藤ヶ谷川)	産業政策課	51,096	0	H29完了	
産業立地事業費補助金交付事業	産業政策課	32,516	28,248	拡充	

基本方針(4)人材育成と経営力向上の支援

袋井商工会議所補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	17,500	15,100	維持	
浅羽町商工会補助事業【再掲4-1-(2)】	産業政策課	8,290	7,800	維持	
産学官連携推進事業【再掲4-1-(1)】	産業政策課	4,439	5,000	維持	
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,161	1,890	維持	
事業資金利子補給事業	産業政策課	702	446	拡充	
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	360	432	維持	
小口資金利子補給事業	産業政策課	35	83	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎豊沢工業団地については、トッパン・フォームズ東海(株)及びトッパン・フォームズ・サービス(株)の進出が決定した。小笠山山麓開発については、農振農用地区域からの除外が完了するとともに、地権者から同意書を取得し、木質バイオマス発電所及びチップ工場を検討する企業と協議・調整を開始した。また、市内企業の事業拡張ニーズに迅速かつ的確に対応し、積極的に支援した結果、隣地等への事業拡張の動きが生まれた。さらに中長期的な観点から実施した企業立地調査結果を踏まえ、豊沢工業団地、小笠山山麓開発地区の次となる土橋地区の開発可能性調査を実施することとした。</p> <p>◎製造品出荷額等は、平成25年以降、漸増傾向であり、平成29年の5,768億円は平成3年の5,958億円に次ぐ規模となった。県西部市町がリーマン・ショック前の水準に回復していない中、本市は、それを上回る回復、成長を果たしている。多業種の既存企業の成長と近年の企業誘致の結果が寄与している。</p>	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎豊沢工業団地の計画的な整備を実施するとともに、積極的な企業誘致活動を行い、トッパン・フォームズ東海(株)及びトッパン・フォームズ・サービス(株)の進出が決定した。小笠山山麓開発事業は、進出申請企業の立地に向けて、地権者等の合意形成と企業との協議・調整を進めた。</p> <p>◎市内企業の事業拡張を積極的に支援するとともに、補助制度のPRと遊休地を情報提供した。</p> <p>◎静岡理科大学研究会の活動を支援するとともに、大学と企業との交流促進を図った。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎小笠山山麓開発地区への企業誘致をはじめ、市内遊休地への企業誘致支援や、長期的な観点から工業用地の開発可能性を探っていく。</p> <p>◎EVシフトや人口減少などの構造変化が進行する中、市内企業の持続的な成長を支援するため、商工団体や静岡理科大学などと連携しながら、販路開拓や新技術・新製品の開発促進、人材育成やIT活用などによる生産性の向上など、新たな取組を積極的に支援していく。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組2	戦略的な観光の推進
取組の目的	まちの魅力アップと情報発信に努め、観光交流客を増やします。
現状と課題	<p>◎国では、ラグビーワールドカップ及び東京オリンピック・パラリンピックを契機とし、2020年の訪日観光客数を4千万人とするなど「観光立国推進基本計画」を策定した。地方では、地域経済の活性化に向けてインバウンド観光に力を注ぐ都市が増えている。</p> <p>◎本市を訪れる観光客の傾向は、「安く、近く、短期間、少人数で」となっているため、ラグビーワールドカップを機に、ツアー会社とも連携を図った上で魅力ある滞在型観光プランを創出し、多くの外国人観光客を呼び込み経済効果を高めていく必要がある。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	観光交流客数(千人)	目標値	—	4,470	4,540	4,610 5,000	4,750 5,100	100.0%
		実績値	4,660	4,635	4,949			
2	観光案内所来場者数(人)	目標値	—	22,000	24,000	26,000	30,000	81.0%
		実績値	6,434	17,772	19,430			
3	ホームページ等のアクセス数(観光関係)(件)	目標値	—	680,000	710,000	740,000	800,000	92.0%
		実績値	540,146	543,938	653,406			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								86.9%
								91.0%

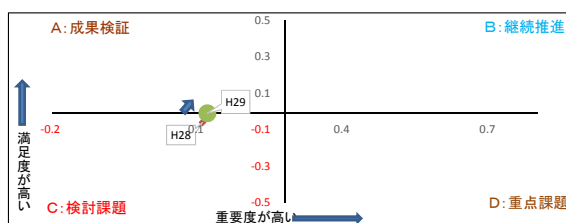
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	観光交流客数(千人) 県「平成28年度静岡県観光交流の動向」	4,635	3,816	3,723	2,691	2,254	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.13	0.14			
満足度	-0.05	0.00			

政策4取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
基本方針(1)袋井ブランドの創出					
ふくろい遠州の火花補助事業	産業政策課	8,550	8,960	維持	
ふくろい観光ルネッサンス事業	産業政策課	4,241	3,242	拡充	◎
遠州三山等魅力創設事業	産業政策課	0	50	拡充	◎

基本方針(2)マーケティングの推進

インバウンド観光推進事業	産業政策課	3,500	3,500	拡充	◎
観光案内所運営事業	産業政策課	2,065	1,763	維持	
観光関係印刷物作成事業	産業政策課	1,333	1,010	維持	
観光広告掲載事業	産業政策課	486	270	維持	

基本方針(3)担手の充実と育成

観光団体活動支援事業	産業政策課	7,650	6,650	維持	

基本方針(4)おもてなしの充実

観光施設管理事業	産業政策課	18,843	3,794	維持	

基本方針(5)戦略的な商品販売の支援

ふくろい観光ルネッサンス事業【再掲4-2-(1)】	産業政策課	4,241	3,242	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	<p>◎年間を通じて観光客が少なかった夏を照準に、観光協会と連携して、新たに「夏」のふくろい遠州三山風鈴まつりを実施したことで、遠州三山への観光客数が増加した。</p> <p>◎平成28年にJRR袋井駅前観光案内所を設置して以来、案内所への来場者は大きく増加しているものの、目標値に対し年間4,000人ほどの乖離があるため、多くの方が案内所に立ち寄ってもらえるよう魅力的な情報を継続して発信していく必要がある。</p> <p>◎ホームページ等へのアクセス数は、最新の情報かつ魅力的な写真を掲載するよう努めた結果、大きく増加した。</p>	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	<p>◎ふくろい観光ブランドの推進として、「夏」のふくろい遠州三山風鈴まつりや「可睡齋ひなまつり」など、観光協会と連携し、観光客増加に向けた取組を実施した。</p> <p>◎2019ラグビーワールドカップを見据え、本市でスポーツツーリズムを推進するため、モニター意見を収集したほか、クラウンメロンや米など農産物を活用した体験型観光ツアーなどのニューツーリズム商品の開発に努めた。</p>		
III. 今後の展開方向	<p>◎遠州三山を中心とした風鈴まつりや可睡齋ひなまつりなどの行事や各種イベントに対して更なる誘客を図るとともに、本市を訪れる観光客が市内を周遊しやすいよう案内板などの環境を整備する。</p> <p>◎ラグビーワールドカップを機にインバウンドを促進し、スポーツツーリズムやサイクルツーリズムなどのテーマ性を持った滞在型観光プランや地域資源を活かした体験プログラムを創出する。</p> <p>◎2020年まで行われる「静岡デスティネーションキャンペーン」を積極的に活用し、クラウンメロンなどの特産品の購入や遠州三山・茶ビアなどの施設を周遊してもらえるよう、旅行会社等へのセールスを強化していく。</p>		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組3	経営力の高い農業の振興
取組の目的	消費者に選ばれる安全で質の高い農産物を供給し、安定的かつ効率的な農業経営を確立します。
現状と課題	◎国の成長戦略では、「担い手への農地の集約」「輸出や海外戦略の拡大」「6次産業化、農業のイノベーション化」が掲げられ、強い農業者づくりが求められている。 ◎高齢化や若年就農者の減少が進む中、担い手の育成や利用集積の推進などにより、安定的な農業生産を維持し、経営効率を高める必要がある。 ◎安全で高品質・環境に配慮した農産物の供給はもとより、農業分野でのICT化を進め、生産性と農業者の所得向上が求められる。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	主要農産物産出額(推計値) (億円)	目標値	—	76.8	76.5	76.1	75.3	91.2%
		実績値	73.3	70.6	69.8			
2	農業法人数 (法人)	目標値	—	36	37	38	40	100.0%
		実績値	40	41	44			
3	利用権設定面積 (ha)	目標値	—	1,006	1,029	1,052	1,100	95.0%
		実績値	962	967	977			
4	農業農村の多面的機能の発揮 に向けた取組面積 (ha)	目標値	—	2,080	2,085	2,090	2,100	99.2%
		実績値	2,070	2,069	2,068			
		目標値						
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								96.2%
								96.3%

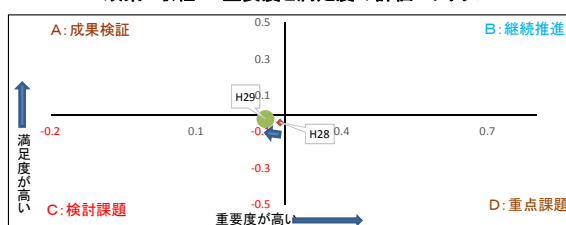
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	多面的機能認定農用地カバー率(H27) (協定農用地面積/農振農用地面積)(%)	67.6	16.5	25.3	8.3	15.2	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.29	0.26			
満足度	-0.04	-0.02			

政策4取組3 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に 重点化する 事業
		H29年度 実績額	H30年度 予算額	H31年度 予算の方向 性	

基本方針(1)次代の担い手育成の推進

担い手育成支援事業	農政課	7,028	11,312	維持
袋井市農業振興会補助事業	農政課	4,090	2,744	維持
経営所得安定対策推進事業	農政課	3,605	3,899	維持
クラウンメロン振興事業	農政課	2,752	1,487	維持

基本方針(2)農地の適正利用と基盤整備

磐田用水東部土地改良区負担金支出事業	農政課	32,010	26,205	維持
基幹水利施設管理事業(浅羽揚水機場)	農政課	29,229	20,236	維持
農業施設維持管理事業	農政課	16,799	20,519	維持
大井川右岸土地改良区分担金支出事業	農政課	5,610	5,610	維持

基本方針(3)農産物の高付加価値化と販路拡大

産地パワーアップ事業	農政課	124,744	19,227	維持
袋井茶振興事業	農政課	11,844	10,250	維持
世界に飛び出せメイドイン袋井推進事業	農政課	2,000	1,000	維持
6次産業化促進支援事業	農政課	1,181	1,484	維持
「ふくろいブランド米」開発販売促進事業	農政課	200	200	維持

基本方針(4)安全・安心な農産物づくりと地産地消の推進

おいしい給食推進事業	おいしい給食課	317,559	318,760	維持
農業振興推進事業費補助金	農政課	2,019	2,000	拡充 ◎

基本方針(5)農地の多面的機能の維持

多面的機能支払交付金事業	農政課	157,045	158,761	維持
部農会交付金事業	農政課	1,789	1,865	維持
環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	599	720	維持

基本方針(6)農産物のさらなる有効活用

耕作放棄地対策事業費	農政課	4,160	4,875	継続
市民農園運営事業	農政課	278	315	継続

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎毎年度0.5%程度の減少を見込んでいる主要農産物産出額(推計値)は、担い手の育成や農地集積を推進したことにより減少幅は昨年度に比べ小さくなった。 ◎農業者数は、高齢化と後継者不足により減少する一方、他業種からの参入や農業者の法人化等により、農業法人数は増加している。 ◎クラウンメロンの海外販路拡大に向けては、これまで行ってきた東南アジア(タイ・マレーシア)や香港での取組を踏まえ、新たな流通先を開拓するとともに、消費の拡大と市場の確保を確固たるものとしていく。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎クラウンメロンの海外輸出を促進するため、香港でイベントを開催したほか、名古屋で品評会を開催してPRを行った。 ◎お茶については、袋井茶振興協議会と連携して消費拡大のPRIに取り組むとともに、「袋井市茶業支援対策事業費補助金」を拡充し、生産者への支援を行った。 ◎お米については、国の経営所得安定対策事業により転作作物を推進し、農家所得の向上に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎新規就農者や意欲と能力のある新たな担い手を支援するとともに、人・農地プランに基づき、農業者の法人化や農地の集約を促進する。 ◎地産地消の推進と地域野菜の耕作面積の増加を図るため、農業者・加工業者・流通業者が連携し、商品開発力を強化していく。 ◎水田フル活用ビジョンにより、地域特産作物(麦・大豆・その他)の栽培を促進するとともに、積極的にICTを活用し農業の効率化と生産性の向上を図る。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組4	魅力的な商業の振興
取組の目的	商店の個性ある魅力づくりや経営体質の向上を支援し、にぎわいあふれるまちづくりを推進します。

現状と課題	◎商店街などでは、店主の高齢化や後継者不足による閉店に加え、主要幹線道路沿いや郊外に存する大型店舗での購買により、買い物客の減少が課題となっている。また、インターネットの通信販売を利用する消費者が増え、商業施設での買い物からインターネットでの買い物へと消費スタイルは変化している。 ◎消費生活相談の件数が年々増加しており、相談内容も複雑化・高度化している。消費者トラブルを防止し、消費者の安全・安心を確保することが不可欠である。
-------	---

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	売上(収入)金額(卸売業・小売業)(百万円)	目標値	—	240,000	240,000	240,000	240,000	—
		実績値	235,545(H23)	235,545(H23)	229,039(H27)			
2	創業件数(卸・小売業、サービス業の件数)(件)(H28~32累計)	目標値	—	22	46	72	130	26.1%
		実績値	17	7	19			
3	消費者講座の受講者数(人)	目標値	—	730	740	750	770	99.7%
		実績値	732	749	738			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								65.9%
								62.9%

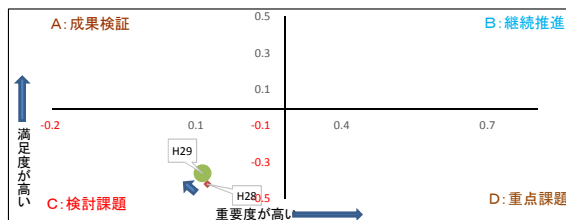
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	売上(収入)金額(卸売業・小売業)(百万円)「平成28年経済センサス活動調査」	229,039	333,276	217,100	387,270	407,245	—
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.14	0.13			
満足度	-0.41	-0.35			

政策4取組4 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 事業者等の経営体質の強化

袋井商工会議所補助事業	産業政策課	17,500	15,100	維持
浅羽町商工会補助事業	産業政策課	8,290	7,800	維持
景気対策特別資金利子補給事業	産業政策課	1,161	1,890	維持
短期経営改善資金利子補給事業	産業政策課	360	432	維持
小口資金利子補給事業	産業政策課	35	83	維持

基本方針(2) 魅力ある個店づくりの推進

個店魅力アップ事業	産業政策課	1,608	1,238	維持

基本方針(3) 商店街活性化に向けた取組の推進

商店街イベント事業	産業政策課	1,000	300	維持
創業支援推進事業	産業政策課	926	1,100	維持
中心市街地活性化推進事業(空き店舗対策事業)	産業政策課	824	1,000	維持

基本方針(4) 消費者トラブルの解決と防止のための啓発の推進

迷惑電話対策事業	産業政策課	1,782	700	維持
消費者啓発事業	産業政策課	901	540	維持
消費生活相談事業	産業政策課	149	240	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎個店セミナー(まちゼミ)の開催など個店の創意工夫を醸成する仕掛けづくりは一定の成果が出ている。 ◎商工会議所や商工会、金融機関等と連携し策定した「袋井市創業支援事業計画」に基づき創業塾や創業支援セミナー等を開催し、創業希望者への支援を行った。結果、昨年度においては、創業者が5人増加し合計12人となった。今後は、支援事業を利用した創業希望者に対し、創業支援事業の情報提供を行うとともに現状を伺うなかで次の支援につなげるなどのフォローアップが必要である。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎袋井駅前商店街協同組合が実施する、中心市街地の「にぎわいづくり」や「活性化」につなげる各種イベントに対し、補助金を交付した。 ◎創業相談会や創業希望者掘り起しセミナー、創業塾を実施するとともに創業支援ネットワーク連絡会により支援団体の連携を図った。		
III. 今後の展開方向	◎まちのにぎわいを創出するため、商店街が開催するイベントや空き店舗を活用して開業した事業者などを支援するとともに、「個店セミナー」や「個店めぐりスタンプラリー」などにより、個店の魅力アップやその情報発信の機会を創出していく。 ◎商業の新たな担い手の発掘とにぎわいの創出を図るため、創業希望者へ実践と人材交流の場を提供していく。 ◎商業施設については、物売る場とともに、人が集う機能を備えたエリアへの転換を検討していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策4	活力みなぎる産業のまちを目指します
取組5	雇用環境の充実
取組の目的	地域経済と市民生活の基盤を確立するため、誰もが安心して働ける雇用環境を充実させます。
現状と課題	◎ハローワーク磐田管内の有効求人倍率は、平成27年12月に1倍台に回復して以来、上昇を続けており、平成30年4月には1.39倍に達するなど、雇用の改善が進む一方、企業においては、人手不足の問題が生じている。 ◎少子化や高齢化などにより、将来的に労働力不足が懸念されることから、生産性の向上と働き方の見直しを進めるとともに、就労意欲のある女性や高齢者の方が安心して働くことができるよう、多様で柔軟な働き方を実現することが求められている。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	高校生と企業を結ぶ合同企業説明会への市内参加企業数(社)	目標値	—	17	19	21	25	100.0%
		実績値	13	15	19			
2	市内学校でのインターンシップの参加率(%)	目標値	—	62.0	63.0	64.0	66.0	100.0%
		実績値	64.6	57.5	66.7			
3	サンライフ袋井の施設利用者数(人)	目標値	—	20,100	20,200	20,300	20,500	100.0%
		実績値	20,130	22,432	23,939			
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						
								93.6%
								100.0%

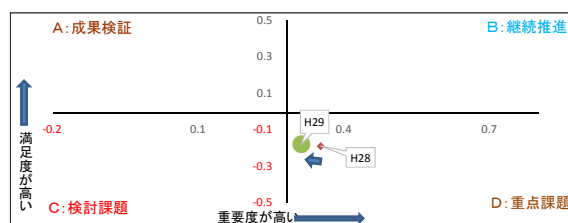
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	御殿場市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37	0.33			
満足度	-0.18	-0.17			

政策4取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)雇用の安定と促進

雇用対策事業	産業政策課	174	652	維持

基本方針(2)就労支援の推進

3Days Worker's Office構想推進事業(協議会貸付金)	産業政策課	20,000	20,000	維持
内職・職業相談事業	産業政策課	1,098	1,098	維持

基本方針(3)勤労者福祉の充実

サンライフ袋井管理運営事業	産業政策課	26,444	27,111	維持
勤労者住宅建設資金利子補給事業	産業政策課	22,614	23,966	維持
遠州ライフサポートセンター支援事業	産業政策課	7,960	7,960	維持
袋井地区労働者福祉協議会補助事業	産業政策課	737	679	維持
袋井市勤労者福祉協議会補助事業	産業政策課	737	707	維持
勤労者教育資金利子補給事業	産業政策課	656	801	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎合同企業説明会においては、積極的な広報活動によって市内参加企業数が増え、目標を達成することが出来た。今後も、積極的にPR活動を行い、企業と高校生両方にとって魅力のある事業にしていこう。 ◎中小企業の“魅力”や“求める人材”を周知するとともに、企業担当者から直接情報を聞ける場として、「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」や「地元企業見学バスツアー」を開催し、学生の職業観の醸成や地元企業への関心を高めた。また、中小企業を中心に労働力不足が経営課題となっており、売り手市場の中で企業側のニーズへの対応が課題になっている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎3Days Worker's Office構想の実現に向け、ふくろいTaskAru(タスカル)ネットワーク事務局を開設するなど、事業の推進体制を整えた。 ◎中小企業の“魅力”や“求める人材”を周知するとともに、企業担当者から直接情報を聞ける場として「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」や「高校生対象の地元企業見学バスツアー」を開催した。 ◎サンライフ袋井の施設利用者を増やすため、定期講座の定員枠の拡大や、短期講座を積極的に開催するとともに、チラシの新聞折り込みにより周知を図った。		
III. 今後の展開方向	◎3Days Worker's Office構想については、ふくろいTaskAruネットワーク事務局を中心に、雇用の場の創出に向け、就労相談や座談会など、高齢者と企業双方への普及啓発を行っていく。 ◎市内企業における人手不足を解消するため、働き方改革や生産性向上の取組など、企業の取組を支援し、人材確保に努めていく。 ◎勤労者の働きやすい環境を整備するため、勤労者に対する融資制度、袋井市労働者福祉センター(サンライフ袋井)の運営、遠州ライフサポートセンターの運営支援により、勤労者福祉の充実を図っていく。		